

Trimble Access 出来形観測操作手順書

株式会社 ニコン・トリンプル

① サインイン

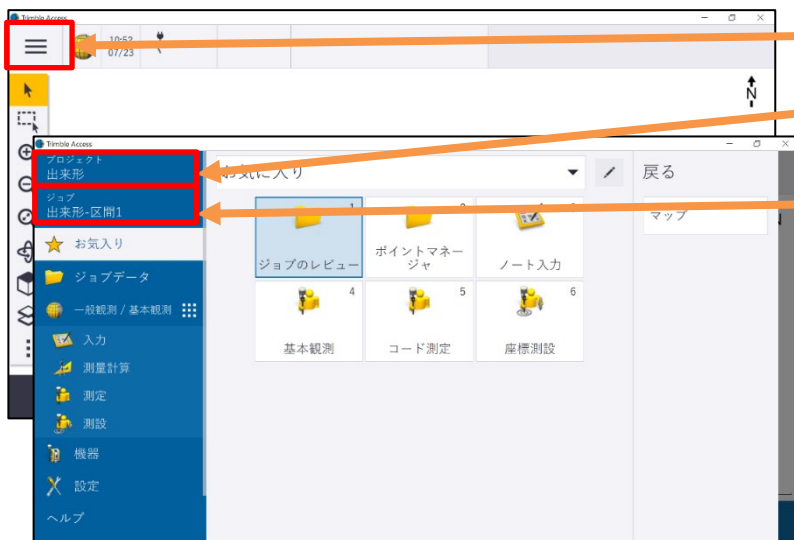
Trimble Access 起動後サインイン画面を表示します。



Trimble IDを使用してサインインをタップしてサインイン処理を行ってください。

ログイン情報を保存にチェックを入れるとアプリケーション終了後もログイン情報を保持します。次回以降の Trimble Access 起動時のサインイン処理が不要となります。

② プロジェクト/ジョブの作成

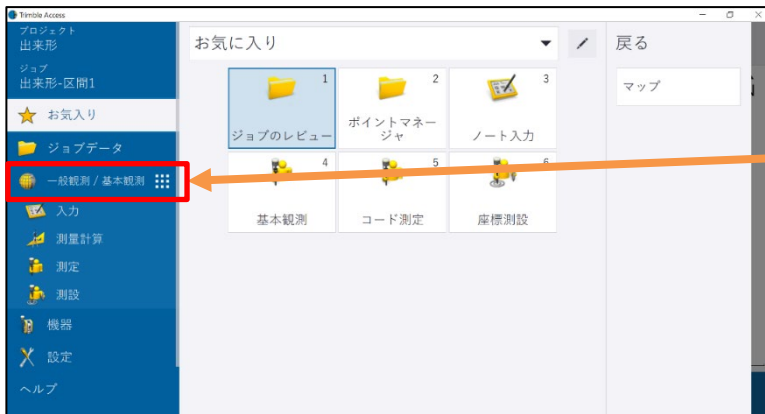


画面左上の☰をタップします。

プロジェクトのタップでプロジェクト管理画面に進みます。

ジョブのタップでジョブ管理画面に進みます。必要に応じてプロジェクト/ジョブを作成してください。

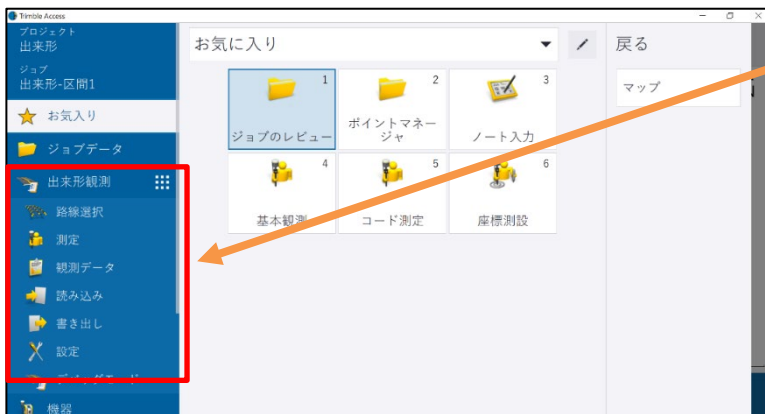
③ 出来形観測プログラム



メインメニューから**出来形観測**プログラムを選択します。メインメニュー画面の呼び出しは、画面左上の☰をタップし、**出来形観測**項目のタップでメインメニューを表示します。



出来形観測をタップします。

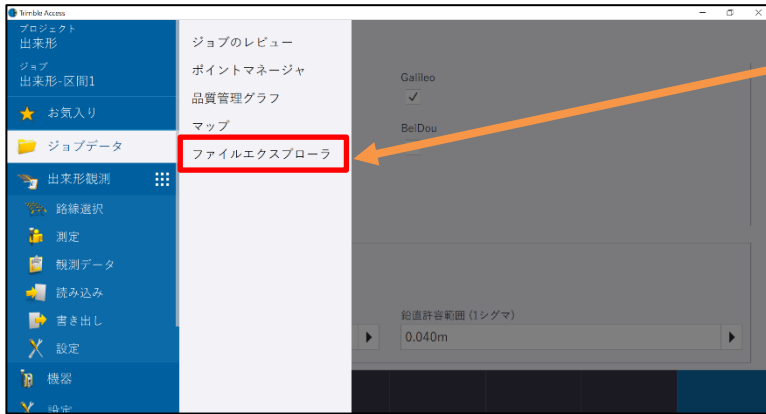



出来形観測プログラムを選択すると、メニュー構成が変わります。

④ 出来形観測：設計データ格納パス

Windows の場合

`C:\ProgramData\Trimble\Trimble Data\Projects` 以下のプロジェクト名フォルダに出来形設計データファイルを格納してください。



画面左上  ボタン / `ジョブデータ` / `ファイルエクスプローラ` をタップすると、プロジェクトフォルダを格納しているパスを初期値とするファイルエクスプローラを表示します。

ProgramData フォルダは隠しファイルとなっているため、表示されない場合、エクスプローラーの表示タブから隠しファイルにチェックを入れてください。

Android の場合

`\Trimble Data\Projects` 以下のプロジェクト名フォルダに出来形設計データファイルを格納してください。

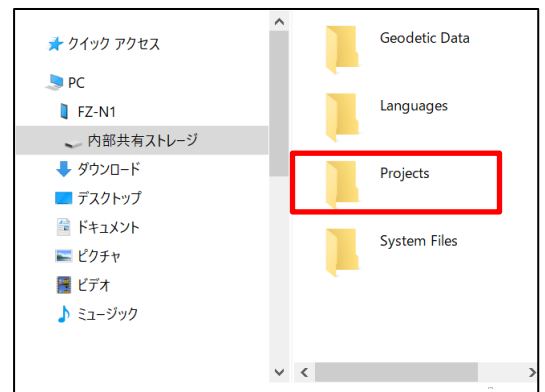


PC と USB 接続します。画面
上部を下にスワイプします。

`このデバイスを USB で充電中`
をタップします。

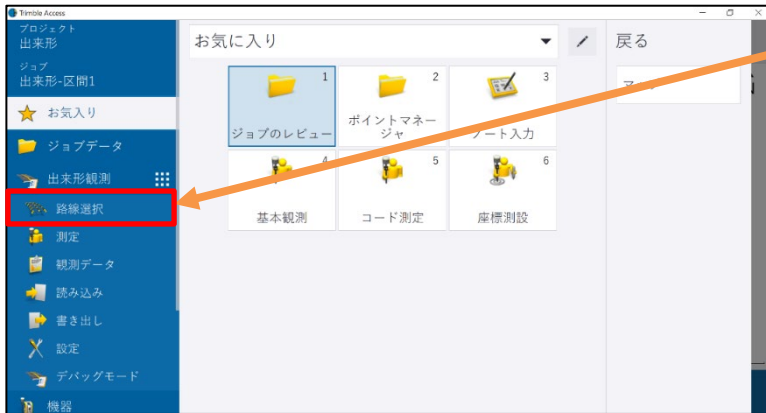


`ファイル転送` をタップします。

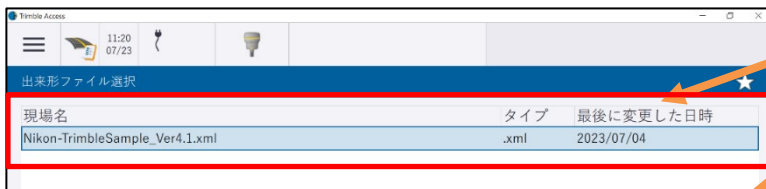


`\Trimble Data\Projects` 以下のプロジェクト名
フォルダが目的のフォルダです。

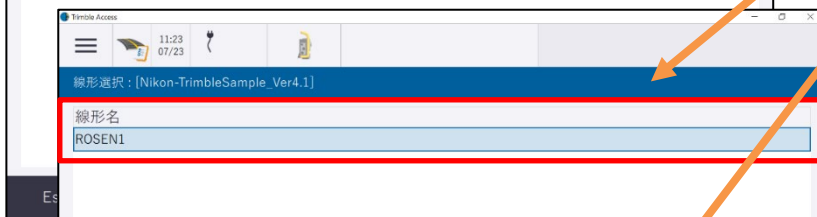
⑤ 出来形観測：路線選択



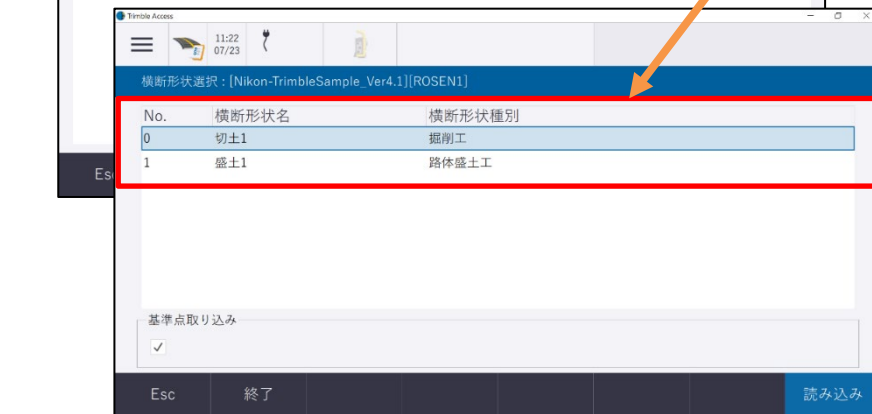
出来形設計データの読み込みと、路線・横断形状の選択を行います。



出来形設計データファイルを選択します。

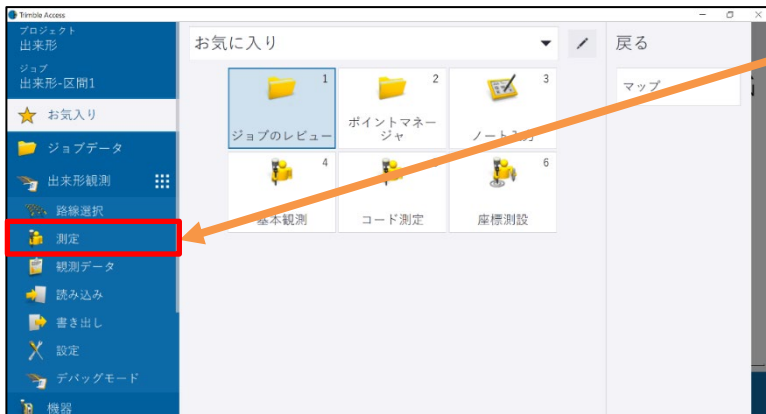


出来形路線を選択します。



出来形横断形状を選択します。

⑥ 出来形観測：測定（器械設置／サイトキャリブレーション）



トータルステーション／GNSS へ接続し、器械設置／サイトキャリブレーションを行います。

※注意：器械設置、サイトキャリブレーションで利用可能な座標は、出来形設計データ内の基準点のみとなっております。



※注意：器械設置は**既知点設置**、**任意点設置**のみ利用可能です。その他の器械設置を利用した場合、出来形観測は行えません。



※注意：GNSS 観測では、事前に**GNSS 精度検証試験**を行い、対象受信機の精度が適切か確認しておいてください。

※注意：サイトキャリブレーションが必要な場合は、事前にサイトキャリブレーションを行ってください。サイトキャリブレーション結果情報は、DC ファイル形式で書き出し／読み込みが行え、サイトキャリブレーション情報を複数のデバイスで共有できます。

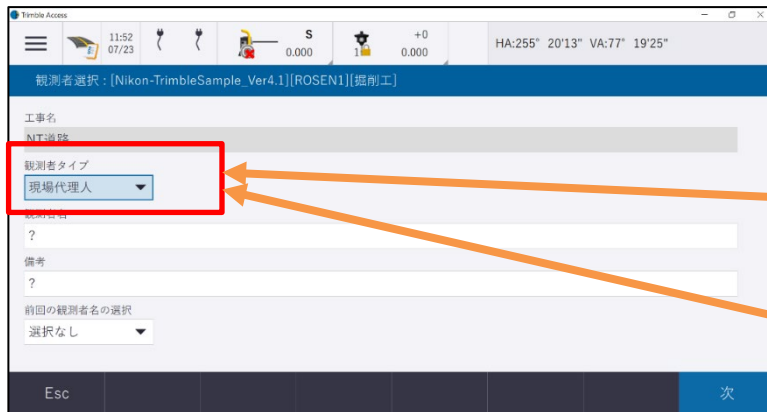


器械設置後メニュー構成が変わります。

TS 出来形観測 / TS 出来形任意点観測
のタップで各観測プログラムへ進みます。

器械位置を変更する場合、メニューの器械点設置、又は、基本観測終了を選択してください。

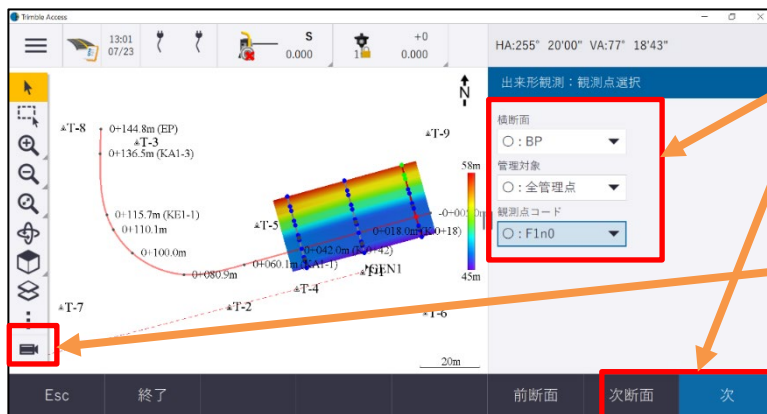
7 出来形観測：測定



出来形観測：測定は観測者設定／観測点選択／出来形観測処理／記録処理で構成しています。

一般的な出来形観測は、現場代理人で行ってください。

出来形点検観測（立ち合い観測）は監督職員／検査職員で行ってください。



出来形観測する横断面／管理対象／観測点を選択します。

観測点は、画面右側：選択画面と、画面左側：マップ両方から選択できます。

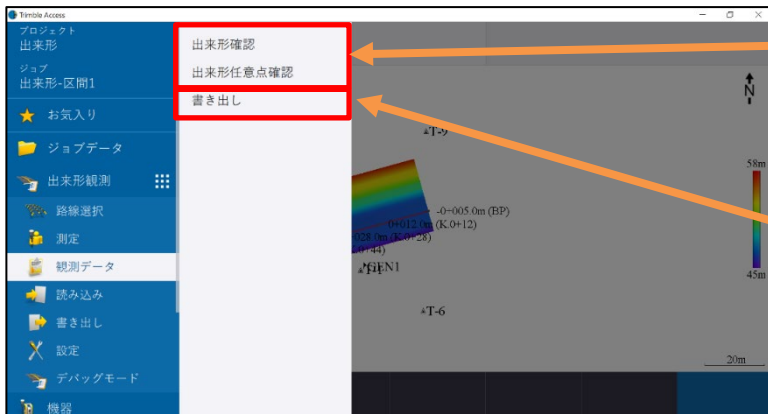
画面左ビデオアイコンのタップで、マップ画面がビデオ画面に切り替わります。



出来形観測の結果を表示します。

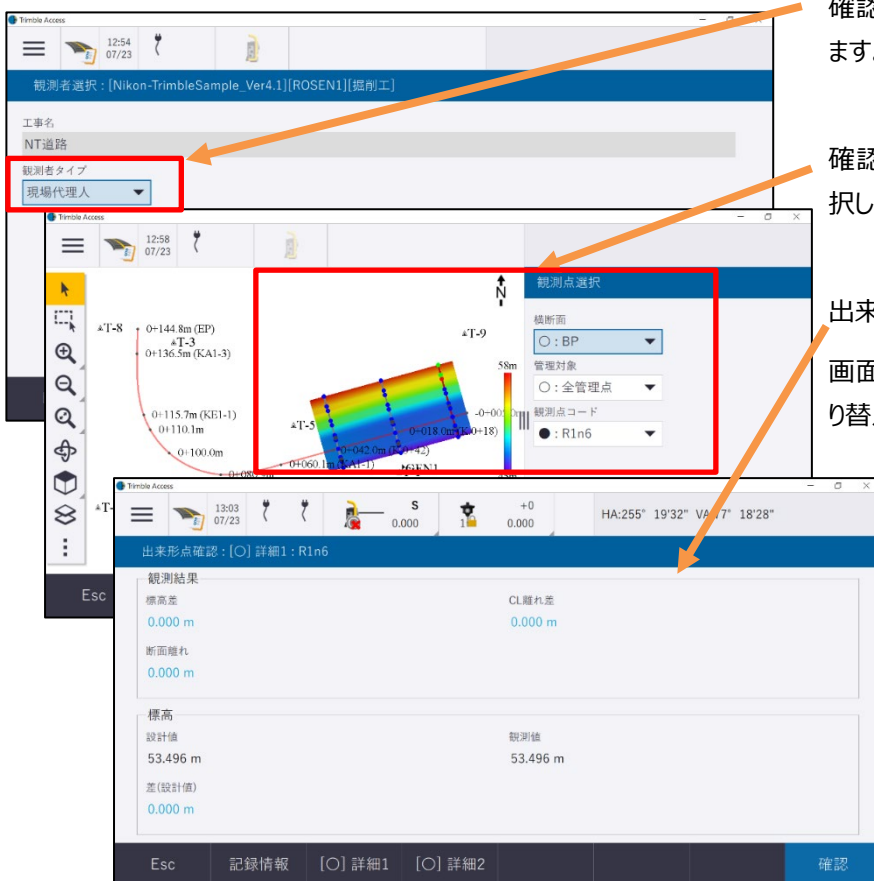
画面下部のボタンで各種表示内容を切り替えます。

⑧ 出来形観測：出来形確認／書き出し



出来形確認／出来形任意点確認では、観測機器に接続せず、出来形観測データの確認が行えます。

書き出しで、出来形観測データを出力します。

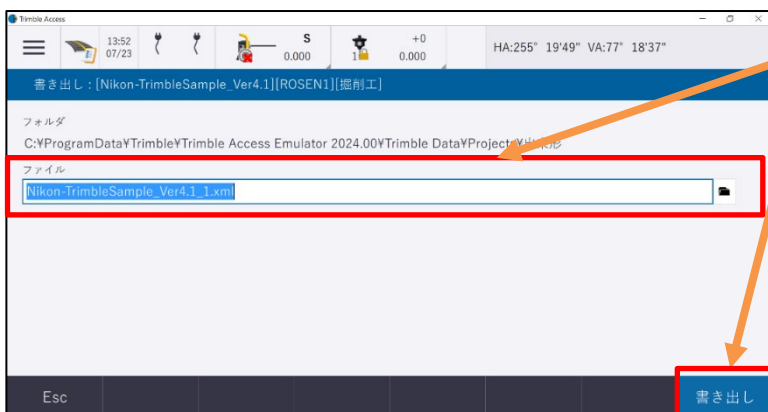


確認するデータの観測者タイプを選択します。

確認するデータの横断面、計測点を選択します。

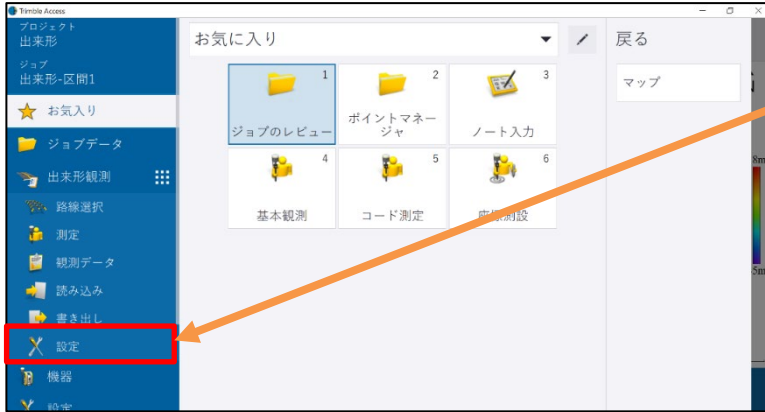
出来形観測の結果を表示します。

画面下部のボタンで各種表示内容を切り替えます。



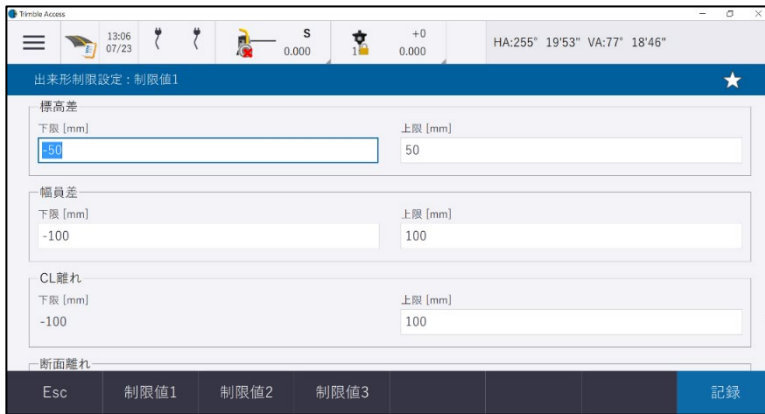
出来形観測の観測データファイルの出力を行います。出力ファイル名を設定し、書き出しボタンをタップします。

⑨ 出来形観測：設定

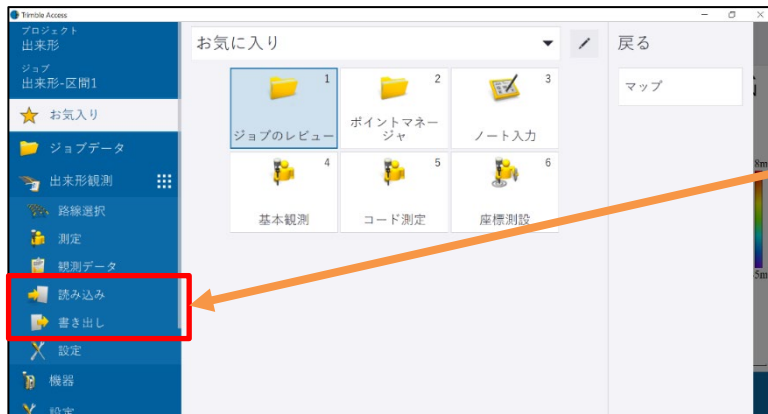


出来形観測の各種設定を行います。

メニューの「設定」タップで、出来形観測設定画面を表示します。

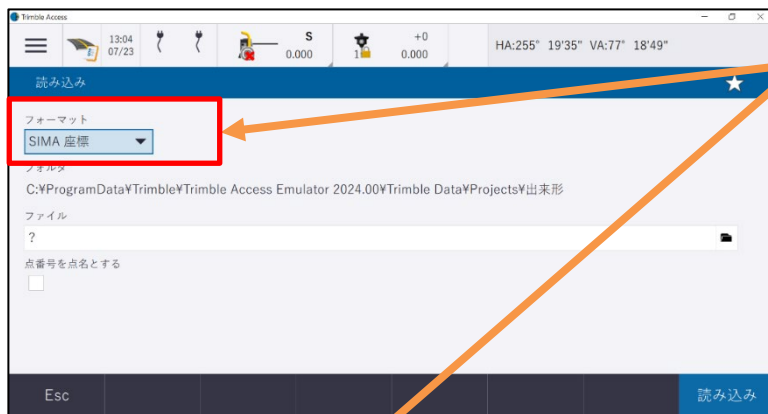


10 読み込み／書き出し

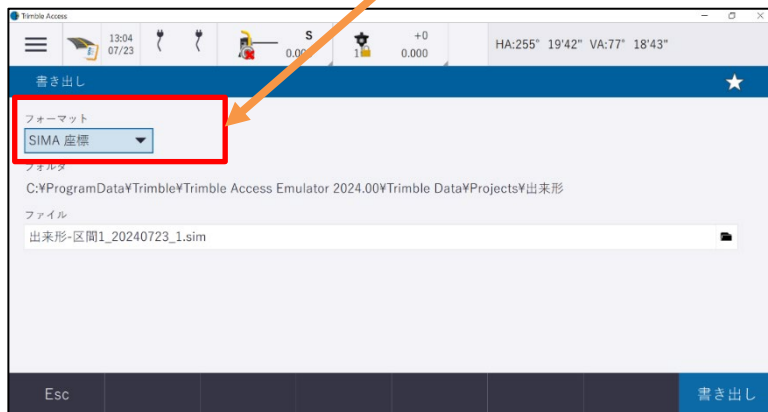


SIMA / APA 座標データの読み込み／書き出しを行います。

メニューの読み込み／書き出しのタップで、各画面を表示します。



フォーマット項目で SIMA / APA 座標データの切替を行います。



2024年8月発行

株式会社ニコン・トリンブル

〒144-0035

東京都大田区南蒲田 2-16-2 テクノポート大樹生命ビル

<https://www.nikon-trimble.co.jp/>

株式会社 **ニコン・トリンブル**

(T24006)